

公益社団法人日本技術士会東北本部岩手県支部  
平成 26 年度年次大会議事録

開催日時：平成 26 年 6 月 28 日(土)14:30～15:30

開催場所：エスポワールいわて 2F 大ホール

出席者数：25 名

1. 開会 出口副支部長

2. 支部長挨拶 村上支部長

平成 25 年の支部設立後、初の年次大会となる。この一年間、以前の岩手県技術士会と大きく変わることなく円滑に活動が実施することができた。これも支部会員各位のご協力によるものと感謝申し上げる。

一方、組織運営に当たってはいくつかの課題も表面化してきている。会員各位の理解を得ながら解決に努めたい。今後ご協力をお願いしたい。

3. 議長登壇

出口副支部長から支部規則 19 条により支部長が議長となる旨の説明の後、村上支部長が議事を進行した。

4. 議事

(報告事項 1)

駿河副支部長から平成 25 年度事業報告及び収支決算について報告があった。つづいて、岩持監事から会計監査報告があった。

質疑・意見

長澤氏：支部年次大会への出席者が少ない。日本技術士会の活動は会員を引き付ける魅力に欠けているのではないか。執行部には、組織運営にもっと努力してほしい。

予算規模がとても小さい。岩手県技術士会当時にあった基金はどうなったのか説明願いたい。

回答

執行部：活動等の活性化については、引き続き努力を続けたい。予算収入については、岩手県技術士会当時は本部非会員からの会費収入があったが、支部移行後はその分が減っている。なお、岩手県技術士会が保有していた基金については、昨年設立年次大会で説明したとおり、岩手県支部は引き継いでいない。

質疑

四戸氏：ILC（国際リニアコライダー）の国内候補地として北上高地が選定され、各種会合が行われている。技術士会としてもそれらに積極的に参画すべきではないか。

回答

執行部：ILC の建設実現に向け、支部としても支援したいと考えている。今年度予定し

ている「北東3地域本部技術士交流研修会」には岩手県の技術士を講師として派遣することも予定している。

(報告事項2)

駿河副会長から平成26年度事業計画及び収支予算について報告があった。

質疑・意見

異議無し

その他の事項は無く議事を終了し議長退任となる。

5. 閉会 出口副支部長

以上

議事録作成 駿河 弘美

平成26年7月14日